

平成 25 年瀬戸内海国立公園自然観察会実施報告
「みんなで作ろう！磯の水族館」

実施日時：平成 25 年 7 月 21 日（日） 13:00～16:00

場 所：広島県広島市南区元宇品

講 師：今村 賢太郎 氏 （日本ミクニヤ株式会社）

参 加 者：37 名（募集定員 30 名）

天 候：快晴

内 容：元宇品の磯で見られる生き物を採集し、みんなで小さな水族館を作り観察した
ほか、プランクトンを採集しファール（顕微鏡）で観察した。

日 程：12:45～ 集合・受付
13:00～ 開会式・スケジュール説明
13:20～ 磯の水族館作り
14:30～ 解説
14:45～ 休憩
14:55～ プランクトンの採集・観察
15:25～ まとめ・閉会式

【実施風景】



開催場所

市街地からわずか5キロの国立公園！
市民の憩いの場ともなっている元宇品の磯
で自然観察会を開催しました。



開会式

環境省広島事務所長、
講師の今村先生より挨拶をいただきました。



今村先生より解説

磯ってなんで出現するのかな？

潮汐のしくみについて解説。

まずは岩場で多い付着生物を探しました。



磯の付着生物といえば

イソギンチャク！

こちらはカモフラージュに小石などを体に付着させるヨロイイソギンチャク。



タテジマイソギンチャク

こちらもイソギンチャクの仲間。

堆朱（ついしゅ）のような色合いです。

元宇品ではこのほかミドリイソギンチャクの3種が観察できます。



これは卵？

そう質問する子どもが一番多かったこちらは、ダイダイイソカイメン。乾燥するとスポンジとして使用できます。

「気持ち悪い～」といいながら、みんな触っていました。



タイドプールの観察

つづいて、干潮時岩場に海水がたまったタイドプールの観察です。



クモヒトデ

クモのように脚が細長いヒトデの仲間。



ナマコ

子どもたちが意外と興味を思っていたのがナマコ。マナマコやニセクロナマコなど数種類が観察できました。



小さな水族館完成！

みんなが集めた生き物を1つの水槽に集めました。



解説

今村先生より、水槽に集まった生き物の解説をしていただきました。



プランクトンの観察

最期に普段は見ることのないプランクトンの観察を行いました。肉眼でも見えますが、今回はファープル（顕微鏡）を使って観察。



みんな、初めて見るプランクトンに興味津々のようでした。ファープルで見ると体のしくみや動きがよく分かります。



閉会式

暑い中の観察会となりましたが、多くの方にご参加いただきました。夏休みのよい思い出になったでしょうか？

車やバスで手軽に行けて磯観察にはもってこいの元宇品。是非干潮時に訪れてみてください！